

「誇れる食と文化スポーツの町」の さらなる発展を目指します

新年明けましておめでとございませう。皆さん希望に満ちた平成30年の新春を迎えられたことと思います。謹んでお祝いを申し上げます。

昨年は台風18号などいくつかの台風に見舞われ、強風による果樹の落下などの被害があったものの、比較的災害の少ない年でした。今年は自然災害のないことを願っております。

東京都日野市と姉妹都市の盟約を結んでから1年となります。盟約締結後、日野市議会、日野市小学校長会、日野市農業委員会、旭が丘商工連合会の方々が来町されました。当町からは、昨年11月に

町議会が日野市を訪問しております。また、日野市にあるJA東京みなみの産直で、JAいわて中央の農産物などが販売されることとなり、私も昨年10月に行われた産直のオープニングセレモニーに出向き、当町のPRを行ってまいりました。

日野市のJR豊田駅のホームでは、異聖歌の「たきび」が発車メロディーとして流れています。日野市との交流は始まったばかりであり、今後、この絆を太くしてまいりたいと思います。

私は町外に対し、当町のことを「誇れる食と文化・スポーツの町」と紹介しております。食に関しては、地方創生の事業で「SAKETOWN SHIWAプロ



彦部公民館で開かれた「転ばん教室」参加者の皆さんと一緒に「シルバリーハビリ体操」を实践
(平成29年11月21日撮影)



「ジエクト」に取り組んでおり、多くの大学生が日本酒の4つの蔵とワイナリーの情報発信について、さまざまなアイデアを出してくれています。また、昨年4月からは議員発議による「紫波町の地酒で乾杯を推進する条例」が施行されました。

文化に関しては、赤石地区に建設中の町汚泥再生処理センターの工事に関連し、発掘調査を行いました。その南口誌大銀Ⅱ遺跡からは多様な遺構が見つかり、平泉と関連付けられる陶器片も多く出土しております。樋爪館跡と推定される赤石小学校付近から北上川まで、当時としては大きな街並みが広がっていたものと思われま。

なお、町ではこれまでの発掘調査で出土した資料を保管していますが、旧中央保育所を利用し収蔵するとともに、今後一部展示室も設けるよう検討を進めてまいります。

スポーツに関しては、紫波総合高校自転車競技部の選手がインターハイや国体で優勝し、素晴らしい成績を残しました。また、紫波第一中学校の剣道部、町内の銃剣道チーム、そして野球チームが全国

大会などに出場しました。

オガール地区にある県フットボールセンターは年間4万3000人が利用し、バレーボール専用コートのあるオガールベースでは、昨年9月にバレーボール全日本男子チームの大会事前合宿が行われました。2年後に開催される東京五輪の事前キャンプ地を目指し、誘致に取り組んでまいります。

町内には小学校のラグビーチーム、中学校のラグビーチームがあり、花園に出場する高校生もおります。昨年12月に町ラグビーフットボール協会の会合に出席した際に、同席した県ラグビー協会の理事長から「紫波町はラグビー熱がとても高い」とお褒めの言葉をいただきました。スポーツは健康のキーワードと捉えております。

今も多くの方々にオガール地区の施設をご利用いただいております、その流れを町の東西に広げてまいりたいと考えております。

結びに、皆さまの本年のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

